

# 袴田 巖さんに 再審完全無罪を！

## 最高裁、 東京高裁へ差し戻し！

### 静岡地裁の再審開始決定を取り消した 高裁決定を取り消し 2020.12.22



袴田巖さんは2021年3月で85歳、姉の秀子さんは2月で88歳です。一日も早く再審完全無罪となり心身ともに解放されるよう、みなさまのご協力をお願いします。

「息子よ、必ず証明してあげよう。お前のチャンは決して人を殺していないし、一番それをよく知っているのが警察であって、一番申し訳なく思っているのが裁判官であることを。チャンはこの鉄鎖を断ち切ってお前のいる所に帰っていくよ。」 (1983.2.8 袴田巖さん獄中からの手紙より)

## 一番元裁判官、39年目の告白！



一番静岡地裁の主任裁判官だった熊本典道さんは、2007年2月に39年の沈黙を破り、公判当時袴田巖さんの無罪を主張したものの、他の2人の裁判官を説得出来ず、死刑判決を書かざるを得なかった。被告人席に来た時の袴田巖さんの顔、判決言い渡しの時にガクンときた様子を思い出さない日は一日もない、と涙ながらに告白しました。この証言は世界に衝撃を与え、各国で報道されました。救う会では、熊本さんの陳述書を添えた上申書を裁判所に提出、袴田さんの無実を訴えました。2018年には50年ぶりに病床で袴田巖さんと再会。2020年11月、巖さんの再審無罪を見届けることなく福岡の病院で亡くなりました。

2014年3月27日、静岡地裁が袴田巖さんの再審開始を決定、死刑と拘留の執行を停止したため、死刑囚の袴田巖さんは47年7ヶ月ぶりに釈放されました。しかし検察が即時抗告、2018年6月11日に東京高裁が再審開始を取り消したため、弁護団が最高裁に即時抗告しました。  
**最高裁は、2020年12月22日、再審開始を取り消した東京高裁の決定を取り消し、東京高裁へ差し戻す決定を行いました。**

決定では、残念ながらDNA鑑定の結果について認められませんでした。犯行着衣とされた「5点の衣類」の血痕の色が不自然であることを調べた弁護側のみを責げ実験について、さらに専門的に調べるよう指摘しています。ただ、5人の裁判官のうち2人は、DNA鑑定の結果も評価し、再審を開始すべきとしており、袴田さんの年齢を考えると、最高裁で再審開始が決められなかったことは残念としか言いようがありません。

## 姉・袴田秀子さんの訴え



巖が解放されるまでの約48年間、盆も正月も祭りも無く、ただひたすら巖の無実を晴らすために一生懸命頑張ってきた。DNAの鑑定結果、弟は犯人でないことがはっきりしました。何か肩の荷が降りたような気がしました。弟巖の無実を信じ、生きて私の手元に迎えることだけを考え、ただただひたすらに生きて来た私のこれまでです。

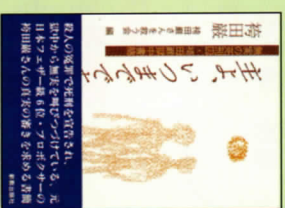
最愛の弟と一緒に暮らし始め2年が過ぎました。事件発生から50年になりますが、巖にとっても私にとっても取り戻すことのできない半世紀です。巖は固く心を閉ざしながらも、必死で生きるための闘いをしていてと思いますし、その心の中は張り裂けんばかりの無実の叫びであるわかれようと思っています。(2016年第6回死刑廃止世界大会メッセージより)

## 『主よ、いつまでですか』

### —無実の死刑囚・袴田巖獄中書簡集—

無罪を求める思い、獄中で洗いを受けた心境等、袴田さんがまだ外の世界と接触をもっていた頃の書簡集。袴田さんの人格証拠として裁判所に提出しました。救う会編集 (2014年7月重版)

<特別価格>  
定価1,645円 → **1,200円**  
(郵送の場合1,400円送料込)



## ローマ教皇が訪日 (2019年11月)

死刑制度に反対するフランシスコ教皇が訪日、袴田巖さんと秀子さんが東京チームでのミサに招待されました。救う会ではカトリックのクリスチャンである門閥幸枝副代表が数年前に教皇へ手紙を送り、弁護団や日弁連なども面会を要請していました。

## ご支援のお願い

袴田巖さんが再審完全無罪となり、安心して故郷で暮らせるよう、どうぞみなさまのお力をお貸し下さい。ご支援いただける方は、次のいずれかの方法でお願いいたします。

1. 会員……………年3600円 (2.も含む)
2. 通信購読会員……………年1200円
3. 袴田巖さんを救う会の活動へのカンパ
4. 袴田巖さん生活支援カンパ

◇郵便振替：00100-3-700714  
加入者名：無実の死刑囚・袴田巖さんを救う会

◇ゆうちょ銀行【店名】〇〇八(ゼロゼロハチ)  
普通預金【口座番号】4847186  
ムジツ/シケイ/シユウ ハカマダイワオサノヲスクウカイ  
(ゆうちょ銀行へお振込みいただく場合は、FAXや  
Eメールでご住所等をお知らせください)

### 高裁前座り込み

毎月14日(土日祝日)の時は翌平日)

12:30～14:30(予定)

場所：地下鉄・霞ヶ関駅A1出口出てすぐ

※コロナ禍で中止する場合があります



### 袴田巖さんの再審開始を求める 署名キャンペーンにご協力下さい！

救う会では、袴田巖さんの再審開始を求める請願署名を集めています。署名用紙は救う会のホームページからダウンロードしていただくか、下記へご連絡ください。

### 無実の死刑囚・袴田巖さんを救う会

〒189-0003 東京都東村山市久米川町1-50-1-4-401  
門間方 ☎080-5406-4127 📠FAX：042-394-4127

Eメール：hakamada-sukukai@h2.dion.ne.jp  
ホームページ：https://www.hakamada-sukukai.jp/

## 「袴田事件」とは？

1966年6月30日、静岡県清水市(現静岡市清水区)でみそ会社専務一家4人の強盗・殺人・放火事件が起きました。従業員の袴田巖さん(当時30才)は、身に覚えがないにもかかわらず、元プロボクサーだからという偏見から犯人と決めつけられ、8月18日に逮捕されました。そして、1日平均12時間、最長16時間及び警察官の過酷な取調べで、9月6日、無理矢理「自白」させられました。

裁判では一貫して無実を訴えたものの、裁判官が言い渡したのは死刑判決。1980年には最高裁で死刑が確定してしまいます。1981年、冤罪(えんざい)を晴らすために再審を請求しましたが、2008年、最高裁が弁護側の特別抗告を棄却したため、第2次再審請求を申し立てました。

2014年3月27日、再審請求33年目にして、静岡地方裁判所(村山浩昭裁判長)から再審開始決定が出され、死刑と拘置も執行停止されたため、袴田さんは47年7ヶ月ぶりに釈放されました。決定文では、捜査機関の捏造(ねつぞう)の可能性にまで踏み込み、袴田巖さんについて次のように書いています。

「…国家機関が無実の個人を陥れ、45年以上にわたり身体を拘束し続けたことになり、刑事司法の理念からは到底耐え難い」

「拘置をこれ以上継続することは、耐え難いほど正義に反する」(第2次再審請求 静岡地裁決定より)

袴田さんは長年、東京拘置所で独居拘禁されたため、死刑確定後は徐々に精神のバランスをくずし、拘禁性精神障害を病んでしまいました。現在は浜松でお姉さんと暮らし、地域の人々に見守られています。が、「事件などなかった」等の妄想は続いており、独自の世界の中にいます。袴田巖さんが心身ともに解放されるためには、何としても再審完全無罪が必要です。

## 袴田巖さん無実の証拠

2014年の静岡地裁の再審開始決定では、犯行着衣とされた「5点の衣類」のDNA鑑定と味噌漬(みそづけ)実験による色の問題が決定的証拠となりましたが、第1次再審請求で故安倍治夫弁護士が提出した補充書の中にも、無実の証拠はたくさんありますので紹介します。

1. (善人格) 袴田さんは、その獄中書簡が示すように、人を愛し、生き物をいつくしむ、優しい人柄です。この事件を犯す動機がありません。「ボクサーくずれ」などとキメつけることは、その道に励む人たちへの冒とくです。
2. (複数犯の怨恨殺人) 現場の異様な残留物と40数個の刺突創から、4人以上複数犯による怨恨殺人と推定されます。
3. (クリ小刀は凶器でない) 凶器は認定によるクリ小刀ではありません。4人の死体の傷の幅と深さのパターンもそれを示しています。
4. (クリ小刀は買ってない) 袴田さんが沼津の刃物店からクリ小刀を買ったという事実は、店主の新証言で完全に否定されました。
5. (血痕不整合) 味噌樽から発見された5点の衣類に付着している血液は被害者の血ではなく、誰かが後でこすりつけたと思われます。
6. (麻袋にはみその付着濃度の形跡が見られない) 「5点の衣類」が入っていたとされた麻袋は、1年以上味噌に浸かっていたとは思えない状態でした。
7. (履き物に血痕なし) 現場の「血の海」を歩いたはずの本人のゴム草履には血の付着がなく、鼻緒の穴の深部にもルミノール反応がありませんでした。
8. (警官があらかじめ差置いた端布の押収) 血染めのズボンのスリの端布(はぎわ)が、袴田さんの実母の整理タンスから突然押収されました。狭山事件の万年筆と同様に警察があらかじめそこに隠し置いて、後から捜査して発見したように装ったのです。
9. (DNA鑑定) シャツの右肩に付いた血液は袴田さんのB型の血液で、格闘の際あやまって負傷したとされています。先端科学のDNA鑑定で分析すればその血液型は袴田さんのものでないことが明らかです。

→第2次再審請求で弁護士が要請、静岡地裁が実施。弁護側、検察側両方の鑑定で袴田さんのものではないと判明。残念ながら最高裁はその証拠価値を認めませんでした。